

競技の条件

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会規則及び当倶楽部ローカルルールを適用する。

2. ホールとホールの間での練習禁止

ホールとホールの間では競技者はプレーを終えたばかりのホールのグリーンの上やその近くではどのような練習ストロークもしてはならない（練習グリーンは除く）。本条の違反は次のホールに2打付加、マッチプレーは次のホールの負。ラウンドの最終ホールときはそのホールで罰を受ける。

3. 危険を伴う気象状況（落雷など）のため委員会の決定によりプレーが一時中止となった場合で同じ組の競技者全員がホールとホールの間にはいたときは、委員会よりプレー再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。

1 ホールのプレーの途中であったときは、各競技者はすぐにプレーを中断しなければならない。尚、プレー中の球はそのままにするか、拾いあげる場合は球の位置をマークしなければならない。

その後、委員会よりプレー再開の指示がでるまでプレーを再開してはならない。

この条件の違反は競技失格（ゴルフ規則5・7b）。

4. 参加資格

- (1) 競技者は当倶楽部ハンディキャップを持たない人またはゲストと共にプレーすることは出来ない。但し委員会が

特に認めた場合はこの限りではない。

- (2) 当倶楽部の正会員にしてハンディキャップを有するもの。
ハンディキャップは最近のスコアカード5枚以上提出して認定をうけるものとする。(女性会員は女子コースレートによる女子ハンディキャップを取得)

(イ) 倶楽部選手権競技はハンディキャップ15迄とする。

(ロ) 理事長杯競技はハンディキャップ24迄とする。

競技日前6ヵ月以内に倶楽部競技のスコアカード1枚(1R)以上の提出がない場合は、参加資格を認めない。

(ハ) シニア選手権競技は満60歳以上、ただし当該年に満60歳に達するものを含む。ハンディキャップ30迄とする。

(ニ) グランドシニア選手権競技は満70歳以上、ただし当該年に満70歳に達するものを含む。ハンディキャップ30迄とする。

(ホ) ゴールドシニア杯は満77歳以上、ただし当該年に満77歳に達するものを含む。

(ヘ) その他の競技会はハンディキャップ32以上のプレーヤーで競技に参加すれば臨時に32として参加することができる。

(ト) Aクラス 12迄

Bクラス 13～18

Cクラス 19～32

- (3) 平日の競技(水曜杯、木曜杯、開場記念日杯、新年杯、レディス杯)には、正会員の他に平日会員も参加することができる。

- (4) 競技参加者は、スタート20分前にフロントにて受付を済ませ、5分前に必ず所定のティーイングエリアに到着しなければならない。本項の違反は競技失格。

5. 競技方法

- (1) 競技参加者は競技終了後、直ちにアテストされ、自署したスコアカードをできるだけ早く委員会に提出しなければならない。理由なく遅滞した場合は失格とする。
- (2) ストロークのプレーでタイとなった場合の順位決定は年長順とする。さらにタイの場合はローハンディ順とする。
- (3) 競技者の組は、参加しない組より先行する権利を持つ。
- (4) 4大競技（倶楽部選手権・理事長杯・シニア選手権・グラウンドシニア選手権）の組合せは抽選によって決定し参加者に通知する。
- (5) 競技会は16人以上の参加を要す。16人未満の時はその競技は成立しない。天候その他の特別の理由により中止する場合は委員会で決定する。競技委員会は競技期日及び競技に関する全てのことを変更することができる。

6. 入賞

- (1) ハンディキャップを取得しても競技日前3ヶ月以内に当コースのスコアカード2枚（2R）以上の提出がない場合は入賞資格を認めない。
- (2) 競技会に入賞したにも拘わらず表彰式に不在のときは、2ヶ月間入賞資格を認めない。